



《施設のレシピ》

鮭ときのこの炊き込みご飯

～仁風学園のレシピ「鮭ときのこのおこわ」のアレンジメニュー～

Recipe!

作り方

- ① 米は研ぎ、ざるにあげて水気を切ります。
 - ② 塩鮭は焼き、皮と骨を取って身をほぐします。
 - ③ さやいんげんは斜めに薄切りにし、塩で湯がきます。
 - ④ :しめじは石づきをとり、房をわけます。しいたけは石づきをとり、薄切りにします。
 - ⑤ :炊飯器の釜に①、④を入れ、Aを入れて、分量まで水を入れて炊きます。
 - ⑥ :炊き上がったら、②と③を加えてよく混ぜたら完成です。
- ※仁風学園では米の70%程度を餅米に換えておこわにしています。

材料(2合分)

●米	2合	・薄口醤油	大さじ1
●塩鮭	2切れ	・塩	小さじ1/4
●しめじ	1/2個	・砂糖	小さじ1
●しいたけ	2枚	・みりん	大さじ1
●さやいんげん	6本程度	・和風顆粒だし	小さじ1
●塩	適量	・料理酒	小さじ1

A

●仁風学園 栄養士 松永美鈴

ちょっと気になるニュース

常設展示会場について

障害者支援施設ゆすの里 物品販売

生活介護利用の方々の生産活動についてさらなる活動意欲の向上を図るために、ゆすの里では施設内に常設展示場を設置しています。常設展示場は園入口に2か所設け、陶芸品、木工品、手芸品、紙つき(はがき、ポチ袋)の販売を行い、売り上げの一部を利用者に工賃として還元してます。販売時間は、毎日9:00~17:00(12/28~1/3を除く)となっています。

日置市伊集院町に来られた際は、ぜひお立ち寄りください！



おめでとう！

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

- 假屋 千秋 (川内自興園)
- 益 美詠 (同胞保育園)

鹿児島県知事表彰

- 井上 真理子(ゆすの里)
- 全国社会福祉協議会会長表彰
- 井上 真理子(ゆすの里)

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰

- 山本 恵子(川内自興園)

鹿児島市社会福祉功労者表彰

- 川邊 美香 (婦人保護施設)
- 下薗 左和子(リハステーションゆす)
- 柴山 育子 (事務局)

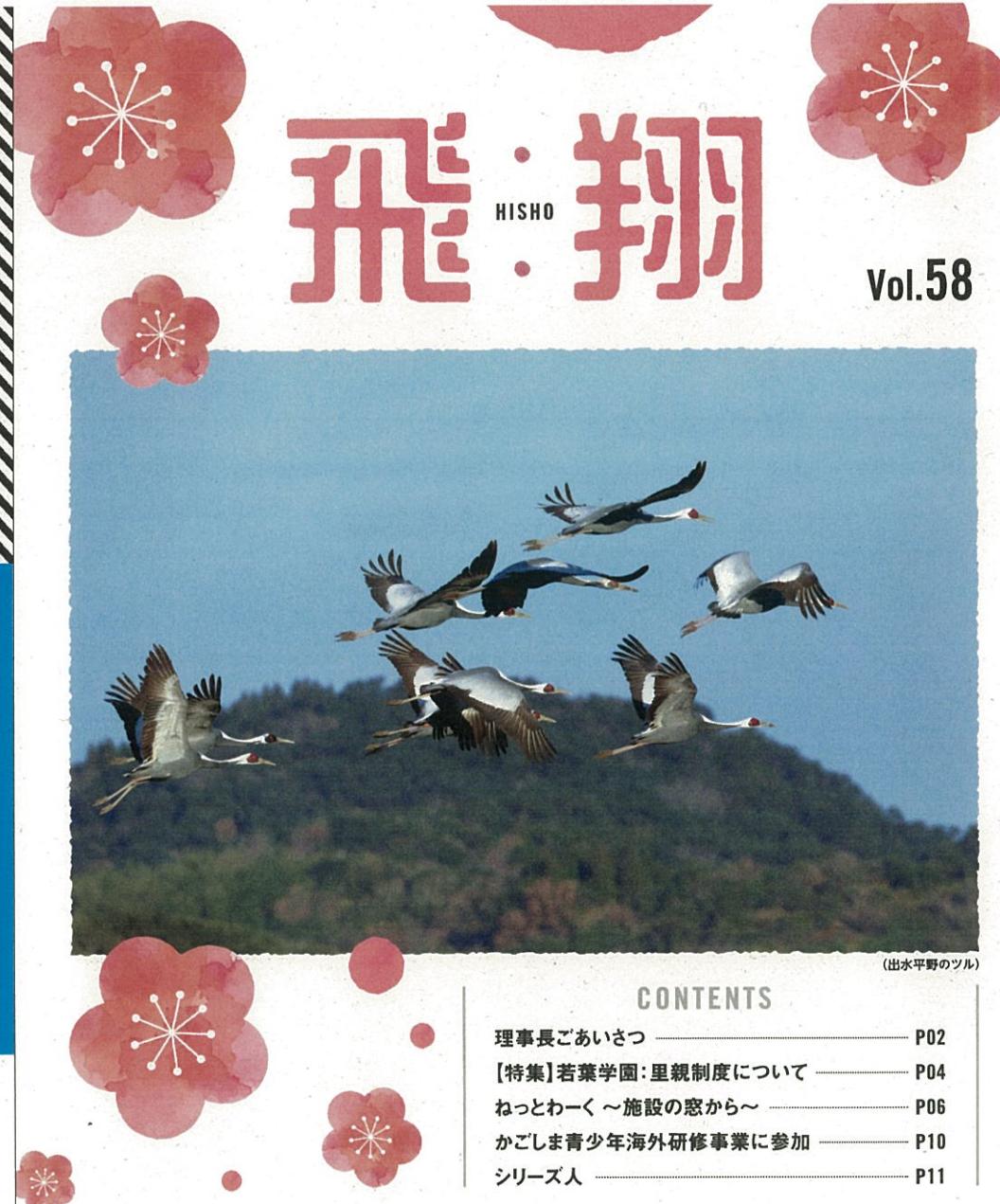
全国社会福祉事業団協議会 永年勤続表彰

- 小蘭 大祐 (ゆすの里)

鹿児島県社会福祉事業団 永年勤続表彰

- 徳永 千早 (若葉学園)
- 上原 清子 (若葉学園)
- 日高 まなみ (慈眼寺寿光園)
- 長野 直美 (ゆすの里)
- 國光 政江 (川内自興園)

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。



CONTENTS

理事長ごあいさつ	P02
【特集】若葉学園：里親制度について	P04
ねっとわーく～施設の窓から～	P06
かごしま青少年海外研修事業に参加	P10
シリーズ人	P11

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鶴池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階
TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swcc.jp URL www.kagoshima-swcc.jp



新年を迎えて

理事長 森 秀樹



あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご多幸ご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃から当事業団にお寄せいただいたおりま
すご支援、ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

ご承知のように、昨年は5月1日に新天皇陛下が御即位され、元号も平成から令和になり、時代の流れの大きな節目と
なった年でした。令和になって初めて迎える新年は、また十二支の最初の子(ねずみ)年でもあります。昨年のような大き
い台風や集中豪雨等自然災害が発生することなく平穏な1年で、子年にならむ繁栄の年となることを願う次第です。

さて、我が国では、人口減少・少子高齢化が急速に進行し、働く世代が減少していく中、国においては、2040年
を見据えた社会構造の変化等に対応し、様々な課題を解消するための方針の検討や新たな施策・取組に着手し
ていますが、社会保障や社会福祉の分野においても、全世代型社会保障制度の構築や地域共生社会の実現など
に向けての新しい時代の医療・福祉・介護分野の在り方の検討が鋭意進められつつあります。

このような中、当事業団におきましては、多くの職員の参画も得ながら、令和元年度から3か年間を計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019」を昨年3月に策定いたしました。今後大きく変化する社会経済情
勢や地域社会の変容を踏まえながら、当事業団としての将来のあるべき姿を見据え、これから当事業団の持続的
な発展を目指して、計画に掲げた各般の目標の実現に、職員一丸となって取り組んでまいります。

施設整備に関しては、昨年3月末に、障害者支援施設「川内自興園」に隣接する障害児通所支援施設「チャイ
ルドクラブあおぞら」を全面改築しました。県・地元市や地域の方々のご支援・ご協力に感謝しますとともに、これまで
以上に、障害のある子どもや保護者の方々にとって、快適で安全・安心な環境と質の高いサービスを提供して、地域
における障害児支援の拠点施設となるよう努めてまいりたいと考えています。

本年も、全国的な福祉・介護分野の人材不足など厳しい環境の中ではありますが、自律的かつ自主的な経営を
図りながら、これまでと同様、利用者の方々により安全・安心で質の高いサービスを提供するとともに、地域社会に貢
献し、地域の皆様の福祉サービスのニーズに応えることができるよう、その責務を果たしてまいりたいと考えております
ので、関係者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



[表紙及び上記写真] 前婦人保護施設長 故 山本耕一さん撮影

報告

理事会

令和元年5月30日

- 議案第1号 平成30年度事業報告(案)について
- 議案第2号 平成30年度計算関係書類及び財産目録(案)について
- 議案第3号 鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正(案)について
- 議案第4号 鹿児島県社会福祉事業団給与規則の一部改正(案)
について
- 議案第5号 鹿児島県社会福祉事業団契約職員就業規則の一部
改正(案)について
- 議案第5号 理事及び監事候補者の選定(案)について
- 議案第6号 評議員選任・解任委員会の委員の選任(案)について
- 議案第7号 評議員会の招集並びに目的である事項等について

評議員会

令和元年6月25日

- 議案第1号 平成30年度計算書類及び財産目録(案)について
- 議案第2号 鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正(案)について
- 議案第3号 理事及び監事の選任(案)について

令和元年度事業団職員研修

事業団全体研修

令和元年6月18日(第1班)

令和元年7月2日(第2班)

(研修内容)

- 1 理事長講話
- 2 「誰もが幸せに生きるために」
県人権同と対策課 研修専門員 宇都節郎 氏
- 3 「～ながらjazz～あなたのスタイルでjazzを身边に気軽に楽しんで～」
Caeat Box Jazz Band
- 4 「発達障害に関する研修会」
社会福祉法人川上福祉社会 児童発達支援センターおひさまSun
所長 田邊貴仁 氏



階層別研修

・新任職員オリエンテーション

令和元年6月16日(内容)

- 1 理事長挨拶
- 2 事業団の服務規律・諸規則について
- 3 各施設の概要説明

・新任職員研修

令和元年5月29日・30日(内容)

1 施設見学

令和元年5月31日(内容)

- 1 理事長講話
- 2 特別講義「鹿児島県社会福祉事業団の歴史」
事務局 参事兼次長兼総務企画課長 野口純仁

・エゴグラム・KJ法による研修

4 3分間スピーチ

・新任職員フォローアップ研修

令和元年12月5日(内容)

- 1 理事長講話
- 2 入職からこれまでの振り返り
- 3 グループ演習

・施設長研修

令和元年7月25日(内容)

- 1 理事長講話
- 2 特別講義「働き方改革に関する同一労働・同一賃金について」
石塚社会保険労務士事務所 石塚昭子 氏
- 3 中期計画の理解と施設別課題の把握
- 4 モラール・サーベイ 結果と活用について



・課長等研修

令和元年7月26日(内容)

- 1 理事長講話
- 2 特別講義「働き方改革に関する同一労働・同一賃金について」
石塚社会保険労務士事務所 石塚昭子 氏
- 3 中期計画の理解と施設別課題の把握
- 4 モラール・サーベイ 結果と活用について



・主查研修

令和元年9月6日(内容)

- 1 理事長講話
- 2 中期計画の理解と施設別計画課題把握
- 3 行動計画の作成



・主任研修

令和元年10月11日(内容)

- 1 理事長講話
- 2 中期計画の理解と施設別計画課題把握
- 3 行動計画の作成



・経験者研修

令和元年11月15日(第1班)

令和元年12月6日(第2班)

(内容)

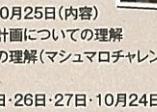
- 1 理事長講話
- 2 中期計画の理解と施設別計画課題把握
- 3 行動計画の作成



・契約職員研修

令和元年9月5日・26日・27日・10月25日(内容)

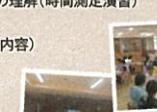
- 1 事業団経営計画内の施設別計画についての理解
- 2 PDCAマネジメントサイクルの理解(マシュマロチャレンジ演習)



・施設別(非常勤職員)研修

令和元年8月29日・30日・9月5日・26日・27日・10月24日(内容)

- 1 事業団経営計画内の施設別計画についての理解
- 2 PDCAマネジメントサイクルの理解(時間測定演習)



・人権啓発研修

令和元年10月8日・15日・24日(内容)

- 「誰もが幸せに生きるために」
県人権同と対策課 研修専門員
鎌田豊作 氏 宇都節郎 氏



特集

児童養護施設 若葉学園 里親制度について

～若葉学園における里親支援専門相談員の取り組み～

児童養護施設 若葉学園ってどんなところ？

鹿児島県姶良市にある若葉学園は、様々な理由により、保護者がいなかつたり、保護者の適切な養育を受けられなかつたりする概ね2歳から18歳の子ども達が生活しています。若葉学園は、子ども達一人ひとりの人権を擁護し、子どもが将来、一人の社会人として生き抜いていくための力と、望ましい人間形成の育成が図られるよう、適切な自立支援を行い子育て支援の専門機関としての社会的責任を果たしていくことを養護理念としています。

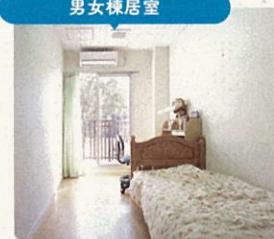


若葉学園 外観

幼稚棟ブレイルーム



男女棟居室



里親ってなに??

里親とは、親の死亡、行方不明、長期の入院、拘禁、離婚、経済的な理由、虐待、養育能力の欠如など様々な事情により自分の家庭で生活することができなくなった児童を自らの家庭に温かく迎え入れ、愛情と真心を込めて養育して下さる方のことです。（鹿児島県HP里親制度の概要抜粋）

里親と里子の関係

里親と里子の関係には、民法上の親子関係は発生しません。里親には実親の親権を完全に代行する権限はなく、里子にも里親の財産を相続する権利や里親を扶養する義務がありません。里親と里子の関係を、養子縁組した親子関係であると勘違いしがちですが、民法上の養子縁組は、当事者間に法的な親子関係を発生させる手続きであり、養育が主である里親と里子の関係とは異なります。（鹿児島県HP里親制度の概要抜粋）

※養子縁組によって里親になることも可能です。



里親制度説明会の様子

里親の種類

里親は次の4種類に分類されます。里親になるには、特別な資格等は必要ありませんが、知事から里親として認定され、鹿児島県の里親として登録される必要があります。里親になるには要件があり里親の種類によって要件が異なります。

①養育里親

保護者のいない又は保護者に養育せざることが不適当であると認められる児童を家庭に迎え入れ養育して下さる里親。

②専門里親

児童虐待や非行、身体障害・知的障害、精神障害のある児童を養育して下さる里親（養育における専門的知識が必要となります。）

③養子縁組里親

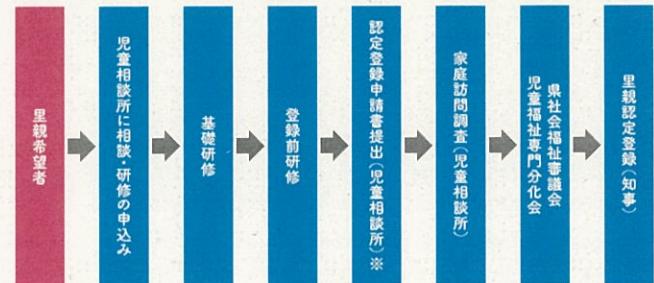
養子縁組によって里親になることを希望される里親。

④親族里親

両親の死亡、行方不明、拘禁状態になった事で児童を養育できないことにより祖父母など扶養義務のある親族が児童の養育をする場合の里親。

里親になるための手続き

- ①まずは児童相談所へ相談
- ②研修を受講
- ③里親登録に申し込み
- ④里親の認定・登録
- ⑤里親として養育開始



*基礎研修や登録前研修の前に申請してもかまいません。（鹿児島県HP 里親制度抜粋）

若葉学園における里親支援専門相談員の活動

里親委託にむけた入所児童と里親交流（マッチング）の支援

交流の日程調整を行い、学園内の面会・外出・里親さん宅での外泊の様子を見守ります。里親さんのその時々の不安や悩みに寄り添って問題解決に努めています。



里親・里子の悩みや困りごとの相談支援

子育てをする中ではさまざまな悩みや困り事が生じると思っています。そんなときに気軽に相談できる場所として、電話での相談も受け付けています。必要に応じて里親さん宅の家庭訪問も行っています。



里親制度の啓発及び広報活動、里親の新規開拓。

鹿児島県内には現在182世帯の里親さんが登録されています。（H31年3月31日現在）里親制度を広く知って頂き、興味を持って頂けたらという思いで、定期的に各市町村で里親制度の説明会の実施やイベント会場でブースを設けて広報活動を行っています。

里親サロンの開催

（里親さん同士の交流の場の提供）

当学園や地域の場所をお借りして里親さん同士が交流出来る会を開いています。横の繋がりが出来ることで、子どもを育てる楽しさや悩みを共有されています。

お問い合わせ先

中央児童相談所 TEL.099-264-3003 大島児童相談所 TEL.0997-53-6070
大隅児童相談所 TEL.0994-43-7011 若葉学園（担当：吉村） TEL.0995-65-4313

ねっとわーく

児童養護施設
仁風学園

子育てサロンの取り組み

地域の子育て世帯を応援したい、学園を地域に根ざした開放的な施設にしたい、そんな思いから今年度から、本格的に子育てサロンを実施しています。

昨年度から、地域の子育てサロンを実施している団体の協力をいただき、校舎のサロンを見学し、サロンに参加されている方の話を聞き、調査、研究を行ってきました。昨年の11月に地域の子育てサロングループとの協同



で初めて仁風学園で子育てサロンを実施しました。ベビーマッサージを企画し、講師の先生をお招きし、親子16人の参加がありました。参加していただいた方から、「楽しかった」「学園のことを知れて良かった」などの感想の他、学園の見学もしたいと興味を持っていたとき、嬉しい反応ばかりでした。

今年度に入り、月に1回のペースで実施し、毎月、季節にちなんだ活動や、学園の設備を活かしたサロンを開催しています。学園の広場や遊具で学園の児童も一緒に遊んだり、寄贈いただいたプールを使い水遊びをしたり、昨年度好評だったベビーマッサージを実施したりと工夫を凝らして考えてきました。それでもなかなか参加してくださる方が少ない日もあり、広報活動のあり方や、内容の充実などまだ試行錯誤の日々です。



子育てに悩んだり、行き詰まっている親子に学園がどのような支援が出来るのか検討し、地域の中で必要とされる仁風学園子育てサロンにしていきたいと思います。

●児童指導員：田ノ上 未浦

施設の窓から

養護老人ホーム
慈眼寺寿光園

演奏会のある敬老祝賀会

9月19日、毎年恒例の敬老祝賀会を行いました。今年は、敬老祝賀会を行うようになって初めての2部構成でプログラムを作成しました。

1部では当園の踊りクラブでクラブ活動を指導して下さっている先生の日本舞踊や毎年入所者の方々も楽しみにされている鹿児島みなみ保育園の子ども達による踊りや歌等を、普段とはまた違った楽しみのある行事食をゆっくり味わっていただきながら観賞いただきました。



2部では約1時間の枠を準備し、宝山ホールを管理運営している(公財)鹿児島県文化振興財団の社会福祉施設等でのアウトリーチ事業の一環として財団のアーティストパブリックに登録している演奏家の方の中からサクソフォン奏者の大山瞳様とピアノ奏者の厚地麻美様のお二人に来園いただき、演奏会を行いました。入所者の方々から子どもまで知っている童謡や映画音楽、またクラシックの名曲から歌謡曲まで全11曲を時に楽しい会話も交えた曲の紹介等をしていただきながら披露していただきました。当初は、普段の敬老祝賀会よりも時間が長くなることもあり入所者の方々がお疲れになるのではないかと心配しましたが、1部と2部で構成途中にトイレ休憩を挟み、2部の演奏会ではコーヒーやお菓子をお出しして雰囲気づくりを行ったことか

【プログラム】	
1. 両親の歌「お母さんお父さん」	2. 音楽劇「おじいちゃんおばあちゃん」
3. 神田川の「おじいちゃんおばあちゃん」	4. おじいちゃんおばあちゃん
5. ハーモニカ「マジカルハーモニカ」	6. 2020年合計「やまかみさん
7. ハーモニカ「マジカルハーモニカ」	8. 正月にて「おじいちゃんおばあちゃん」

ら、あつとい間の1時間で入所者の方々からも「楽しかった」「上手だったね~」等、多くの満足の声が聞かれました。

入所者の方々も普段は参加することのあまりない演奏会という機会を持つことで改めて皆様の傍に音楽があり、音楽がまた皆様を幸せな気持ちにすることが分かり、素晴らしい敬老祝賀会になったと思います。

●支援員：松元 久

保育所
同胞保育園

石橋記念公園綱引き大会

10月26日、石橋記念公園で開催された保育園児綱引きに参加しました。毎年参加しており、子ども達もこの日をとても楽しんでいました。公園に着くと、既に他の保育園のお友達も来ており、界隈に圧倒され緊張した様子が見られました。

しかし、いざ自分達の番が来ると、「男の子、



ことでした。この悔しさを晴らすために、沢山練習して、来年はリベンジしたいと思います。



頑張るぞ、エイエイオー！女の子、頑張るぞ、エイエイオー！」という緊張を感じさせない元気な掛け声で、どの試合も終わりの笛が鳴るまで一生懸命に綱を引く姿が見られましたが、残念ながら悔しい結果に終わり、涙を流す子ども達でした。足に擦り傷を作りながらも最後まで励まし合いながら頑張ったことを大いに褒めました。

●保育士：餅原 舞

保育所
鹿児島みなみ保育園

「あっぷっ！」の声かけに小さな両手をふくらました頬にあて、ポーズをとる子ども達。

私は今、0歳児のクラスを担当しています。4月当初はベビーラックやお座りで過ごしていた子ども達も、今では活発に動き回り色々な表情をするようになりました。

11月、生活発表会が行われました。子ども達にとって初めての大舞台。日頃から音楽に



生活発表会

合わせて体を動かしたり、手遊びをしたりするのが好きな子ども達だったので、手遊びやリズム遊びを発表することにしました。毎日の保育の中で音楽を流し、一緒に踊ることを楽しみました。子ども達も音楽が流れると自然に体を動かすようになりました。その他にも、朝の時間や絵本の読み聞かせの前後にしている「よろしくお願ひします」、「ありがとうございます」との挨拶に、いつの間にか小さなかわいいお辞儀が出来るようになりました。

いよいよ迎えた発表会当日。準備が整い、幕が開きました。大好きな手遊びを行うと、嬉しそうな子ども達の顔が見えました。聞き慣れた音楽が流れると自然と立ち上がり、両手



を叩いてリズムをとる子ども達の姿はとても輝いていました。誰一人泣くこともなく最後の挨拶までしっかり発表することができました。

発表会を終えて、改めて子ども達の成長を感じました。これからも子ども達の成長に寄り添いながら、日々の保育を大切に色々な遊びを取り入れ、笑顔あふれるクラスにしていきたいと思います。

●保育士：坂口 恵里

ねっとわーく

障害者支援施設
ゆすの里

「すまいるおでばい」について

ゆすの里では、日常生活関連活動(IADL訓練)の一環として、利用者の方々が地域移行に関する負のイメージや不安を少しでも解消し、地域移行後の生活を感じ、考える契機としてもらうため、笑顔で国内外にお出かけする、「すまいるおでばい(鹿児島弁でおでか)



け)」という事業を実施しています。出かける場所も様々であり、グループホームの施設見学や商業施設での買い物、アイスクリームの工場見学、バイキングでの食事等、利用者の方々のリクエストになるべく応えられるように外出場所を決定しています。今年度は鹿児島市内にあるイオンモール鹿児島に職員3名、利用者4名でおでばいに行きました。

イオンモール鹿児島には、障害者用のトイレやエレベーターが設置されており、スムーズにショッピングモールの中や飲食店街の中を移動でき、利用者の方々の園内での滞りなくたくさんのおでばいを見ることができました。

飲食店街での食事は、利用者の方々に食べたい料理をメニューから選んでもらい、各自で注文してもらいました。昼食後は店内の散



策や欲しいものを買ったりして楽しめました。利用者の一人ひとりの思いを大切に、みなに笑顔が届けられるよう今後も事業を継続していきたいと思います。

●言語聴覚士兼支援員：宮園 健志

鹿児島市南部
親子つどいの広場

運動会ごっこ

鹿児島市南部親子つどいの広場では、10月14日に「運動会ごっこ」を開催しました。日頃からよく来館されるご家族をはじめ、市外からも沢山の方が参加して下さいました。いつもはお母さんと子どもの2人で遊びに来ている親子も、この日は、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんを連れて、カメラを片手にご家族総



出でご来館下さいました。

かけっこは、年齢別に行われ、ハイハイレースでは「よーいスタート」の合図があがってもみんな座り込んでなかなか動きません。お母さんが一生懸命、我が子の名前を呼んで、やっとハイハイで進みだし、中にはゴールとは違う方向に進んでいく赤ちゃん、ゴールテープの直前で座り込んでしまう赤ちゃんもいましたが、参加者の温かい拍手や声援もあり、みんなゴールできました。日頃は思いっきり走り回る機会の少ない1~3歳の子ども達も、この日はいつも以上に、活き活きとした表情でかけっこを楽しみ、ゴールではご褒美のメダルを嬉しいことに受け取っていました。子どもの成長を家族だけでなく、職員、参加者全員で実感することができました。

今年は、例年と違いメイン広場での開催と



なり、準備に大変さはありませんが、子ども達、ご家族、地域の方々の笑顔や笑い声で包まれた秋のイベントとなりました。

今後も、様々なイベントを通じて、地域の方々が健やかに子育てできますように、職員一同で支援していきたいと思います。

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子



●保育士：柿内 真沙子

●保育士：柿内 真沙子

かごしま青少年海外研修事業に参加!

~海外で多様な価値観に触れる~

川内自興園 事務主任 山下 博之

今回、鹿児島県が実施する本事業に参加し、世界の中でも大きく発展している上海を3泊4日の日程で研修させていただきました。研修では、現地企業の訪問や企業の方々との交流、3日目には個々目的的設定や行動計画を作成した上で、個人研修を行いました。

上海は、高い建造物が立ち並び、長く広い高速道路には日本車や高級外国車が走っていました。一般道路にも人があふれ、電動スクーターなどが行き来していました。急速な経済発展をしていることが街の情景を見てすぐ理解できました。

現地企業の方々との交流会においては、急速な経済発展の中で、電動スクーターや電気自動車の利用、地下鉄などの整備を積極的に推進していく、環境問題にもすばやく取り組み、ほぼ解決に至っていると教えていただきました。また、数年前から電子決済の企業参入が活発になり、現在は現金払いよりもスマートフォン決済アプリが主流になってきているとのことでした。日本よりも進んでいることが多いと理解でき、上海の方々の行動力は自分自身も学ぶ必要があると感じました。

2日目、3日目にはグループ毎の研修があり、伝統芸術京劇の体験や上海孫橋農業園の訪問を行いました。京劇は、日本の女性にも類似する点があり、今まで知らなかった中国の伝統文化を肌で感じられ、素晴らしい経験となりました。一方、農業園は国営施設であり、農作物の育成の研究を主として実施しているよう、栽培方法など新しい発見をすることができました。

そして、研修の総まとめとして、3日目の午後からは個人研修を行いました。私は、商業や工業の中心都市である上海で、障害者や高齢者などどのように暮らしているのか知りたいと考え、店舗や観光名所の訪問、公共交通機関の利用を行い、バリアフリー状況や合理的な配慮への取り組みを確認することにしました。

上海を散策したこと、全てではありませんが、歩道は点字ブロックが整備され、各店舗にはスロープが設置されていました。「豫園」や「外灘」といった観光名所は、観光客などで賑わい、前に進むのが困難に感じましたが、横断歩道の信号機には音声案内が流れ、誰でも信号の存在を把握できるよう配慮がされていました。

公共交通機関については、地下鉄を利用しました。駅構内や電車内は広く造られており、日本に比べて移動しやすく感じました。また、エレベーターや点字ブロック等も整備されていました。電車の中は、日本と同じように各席に優先席のマークがありました。

上海の街並みを見渡すと、所々に注意喚起を促すマークがありました。階段のところには「段差に気をつけ!」床が大理石のところには、「滑りやすい」と絵と共に分かりやすく表示され、誰でも気づけるように配慮がなされていました。相手の立場で物事を考え、必要とされる設備やサービスを工夫していくことは福祉の現場でも生かせることであると感じました。

今回の研修は、高校の修学旅行以来の海外渡航で大変不安が大きかったです。しかし、様々な経験をした中で、多様な価値観や思考があることを理解し、あらゆる視点から物事を考える必要性があると再認識しました。また、多種多様な参加者の交流ができ、新たなネットワークが築かれたことは、今後の職務にも生きると感じています。様々な視点から物事を考え、柔軟な対応ができるように、今回上海で学んだことや再確認したことを大切にしていき、福祉の現場に還元していきたいです。



日程 R1.10.16～10.19

空路 上海(中国)

- 1日目 □上海の企業に勤務する現地の方々との意見交換会
- 2日目 □上海の経済事情等に係る概要説明(東華大学)
□伝統芸術京劇の体験
- 3日目 □上海孫橋農業園訪問
□個人研修(上海のバリアフリーステータス等確認)
- 4日目 □移動日

空路 鹿児島



1日目の意見交換会にてグループ毎に鹿児島県のPRを実施
(大隅半島の各地域の特色を発表)



地下鉄車内の様子
(各車両に優先席を設置)
観光地①(外灘)
観光地②(豫園)



同胞保育園 保育士
尾原 茜央

①自己紹介をお願いします。

今年度より同胞保育園で保育士として働かせてもらっています。趣味は映画鑑賞で、友だちや家族と美味しいごはん屋さんに行くことが好きです。最近は料理のレパートリーを増やしてきて、なるべく自炊をするよう心がけています。

②今、行っている仕事内容は何ですか?

私は1歳児クラスの担任をさせてもらっています。月齢差が大きく、個々への関わりに難しさを感じることもありますが、子どもの成長を感じた時や、保護者の方に感謝された時はとても嬉しく、やりがいを感じています。

③事業団で働いて半年経って…

事業団で働かせて頂いた半年間は、私にとって初めての社会人経験であり、学生時代とのギャップが大きく毎日があついう間でした。半年間の日々の業務や様々な研修を通して、社会人としても保育士としても学びの多い充実した半年間だったように思います。

④休日の過ごし方は何ですか?

休日は、学生時代の友だちと会ったり、家でゆっくりしたりして過ごしています。実家に帰って、家族と過ごすことが多いです。

⑤先輩方へ一言お願いします!

先輩方の姿から多くを学び、成長していくよう頑張ります。ご迷惑を多々お掛けすると思いますが、よろしくお願い致します。

(インタビュー 同胞保育園 鮎原舞)



園の1日の流れ(1歳児)

- 7:00～ 登園
- 9:30～ (朝) おやつ
- 10:00～ (朝) 活動
- 11:30～ 給食
- 12:30～ 午睡
- 15:00～ (昼) おやつ
- 16:00～ (昼) 活動
- 16:00～ 順次降園



2019川内自興園ふれあい秋まつり

11月9日(土)、川内自興園にて2019川内自興園ふれあい秋まつりを開催し、たくさんの皆様にご来場いただきました。誠にありがとうございました。

当日は、利用者が作った野菜や花の苗、木工品、陶芸品等の販売や、地域や他団体の方々のご協力をいたで加工品等の販売、ステージでの歌やダンスの披露等、様々なイベントを行い、大変にぎわいました。

来年の4月18日(土)には、春まつりの開催を予定しておりますので、是非お越しください。



職員提案結果発表

業務の活性化と施設のサービス向上を目的に職員提案の募集を行いました。令和元年度第1期は3つの提案が審査され、今回は惜しくも入選以上には届きませんでしたが、貴重な提案いただきありがとうございました。

- 訪問型職場適応援助者(ジョブコーチ支援)における障害者雇用安定助成金受給収益によるセンター委託事業サービスの運営強化
- ジョブ・リターン(復職)制度の創設について
- 職員表彰の「見える化」による職員の意識啓発及び帰属意識・志気の向上について

令和2年度は次の期間で募集を行う予定です。今後も業務の活性化と施設のサービス向上のためたくさんのご応募お待ちしています!

第1期募集:6月1日～8月31日

第2期募集:10月1日～12月31日